

自己評価表

	チェック項目	保護者の方からのご意見	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		建物は、法令で定められた広さ以上の面積を備えています。ホール・指導室・屋外などに活動場所や時間帯、内容を分けることによって、活動しやすいように配慮しています。
	② 職員の配置数は適切であるか		児童発達支援管理責任者を2名配置し、法令で必要とされる配置数よりも1名多く指導員を配置しています。また、スタッフ全員が教育・心理・福祉の専門資格を有しております。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		玄関へ繋がるスロープや車椅子対応のトイレを備えています。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		日々、職員間でお子様の情報共有を行い、目標の設定、対応の検討を行っています。また、事業所の運営に関して、職員間で意見を募り業務に活かしています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		面談での聞き取り、送迎時の引継ぎ、電話連絡などにより、意向等を確認し、業務改善に繋げています。アンケート調査によるニーズ把握については、今年度より実施しています。
	⑥ この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		今年度より、法人ホームページで公開しています。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		第三者評価については、実施を予定しています。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか		京都府や保健所による研修など、全ての職員が研修を受けられるようにしています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか		利用前にアセスメントを行い、ニーズや課題を把握した上で、個別支援計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		課題分析票を作成して適応行動の状況をアセスメントしてきました。今後は「Vinland-Ⅱ」を活用して実施する予定です。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか		個別課題の立案は担当スタッフが先行し、職員間で情報共有しています。調理・運動・音楽などの集団プログラムは、複数のスタッフで話し合い立案しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		活動内容が固定化しないように月・週単位でプログラムを変えたり、日々の課題の内容を変更、改善するようにしています。
	⑬ 平日、土曜日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		利用時間に応じた活動プログラムを提供しています。個別支援計画に基づき、全体・個別の課題を月・週単位で設定して支援しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか		アセスメントに基づき、個別活動と集団活動を取り入れた個別支援計画を作成しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		日々のミーティングで、お子様の動き、職員の動き、車の運転時の注意事項の確認、お子様の対応で気をつけることなどを確認しています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		翌日のミーティングで、支援の振り返りやヒヤリハットの確認を行い、情報共有しています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		利用ごとに客観的な記録を取り、支援の検証・改善に繋げています。その記録は、連絡帳として保護者にお渡しし、事業所での様子の情報を共有しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか		日々の記録を元にモニタリングを行い、個別支援計画を見直し、修正しています。
関係機関や保護	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	㉞・子どもに聞くこと交流したことがないことだった。 ・他との交流を希望していない。	学校・事業所などで行われるサービス担当者会議には、各担当または、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	㉞毎回のフィードバックはとても詳しく、子どもの様子や頑張りがよくわかる。	学校や保護者の方から受け取った年間計画・行事予定・下校時刻表・出欠表を元に情報を把握しています。緊急時、トラブル発生時は、直接電話で連絡調整しています。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		今現在、医療的なケアが必要なお子様はいらっしゃいませんが、現在利用中のお子様に関しては、かかりつけ医療機関の把握を行っています。また、アレルギーのあるお子様につきましては、緊急時の対処・連絡・通院方法を情報共有しています。

障害者との連携関係機関や保護者との連携	23	保育所や幼稚園、認定こども園、学校、他事業所等(児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所)との間で情報共有と相互理解に努めているか		必要に応じて、送迎時の引継ぎ・電話連絡・ケース会議・見学などを通して情報共有と相互理解に努めています。
	24	就学時、就労時など移行の時期に、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		必要に応じて、支援ファイルの移行シートを保護者に渡したり、情報提供しています。今後は、移行シートの作成と支援計画などを合わせて書面で情報提供できるように体制を整えます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		外部専門機関の指導の下、ペアレントトレーニングやSST(ソーシャルスキルトレーニング)を始めました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		限られた利用時間の中では実施が難しいこと、保護者の意向への配慮のため、そのような機会は設けていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		木津川市自立支援協議会、京田辺市自立支援協議会などに参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		連絡帳や送迎時の引継ぎ、面談や電話連絡を通して、保護者の方と状況や課題の共通理解に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		個別のケースについては、必要に応じて面談や相談の中で、助言や支援を実施してきました。昨年度からご希望の方に順次ペアレントトレーニングを実施しています。
保護者への説明責任等	30	運営規定、個別支援計画の内容、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか	30 いつも丁寧でわかりやすい。 31 相談すると気軽に話を聞いてくれて助かる。	契約時に運営規定、利用者負担について説明をしています。面談時に個別支援計画の説明、運営規定・利用者負担の変更点を説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	32 ハイキングは交流の場になっている。	必要に応じて、相談の機会を設け、助言や支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33 ホームページにあまり変化がないように思う。	ペアレントトレーニング受講者対象の交流会や支援ファイルのワークショップを開催し、保護者交流の場を設けました。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	34 送迎車に事業所名が入っていてもよいかなど、配慮してくれている。	事業所内に苦情受付窓口の担当者を設けています。また、皆様からのご意見や苦情に対しては、迅速かつ適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	35 連絡帳や電話などで子どもについて情報を共有してくれている。	年に数回児童デイ通信を発行したり、随時その他の行事案内を行っています。
	35	個人情報に十分注意しているか		個人情報の取り扱いには十分注意し、関係機関との連絡調整やケース会議など、状況に応じて必要な場合やその他保護者の方に確認の上使用しています。また、書類などの個人情報の保管は鍵のかかる事務所でしています。
	36	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		お子様の状況に合わせて視覚的情報などを活用して意思疎通や情報伝達をしています。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		限られた利用時間の中では実施が難しいこと、保護者の意向への配慮のため、そのような機会は設けていません。法人としては、地域へ向けてパンやお弁当の販売を行っています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	39 訓練について、行っているかどうかわからない。	火災・救急マニュアル、ハザードマップ・災害時避難手順については、事務所に掲示しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		職員対象の避難訓練を実施しています。お子様対象の避難訓練は実施検討中です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		虐待防止のための研修を実施したり、京都府や保健所による研修などに職員を派遣しています。また、ミーティング時にリスクマネジメント表を活用し、お子様へ適切な支援ができていくかどうか、毎日振り返るようにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		利用時に身体拘束が必要な方については、保護者同意のもと、個別支援計画に明記し、実施しています。
満足度	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		保護者からの情報提供により、アレルギー対応の食事の提供や調理の支援をさせていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		ヒヤリハットの事例は、ミーティングで報告し、職員間で情報共有しています。
	44	子どもは通所を楽しみにしているか。	・課題に取り組めず泣いたりする時もあるようだが、毎週迎えの車を楽しみに外で待たがる。 ・利用後、疲れるらしく、あまり楽しみに通っていないが割り切っている様子。 ・「やる時は嫌でもやる」がそれ程ない事業所と比べては、楽しみが減る部分はあるようだが、親としてはそれが重要だと考えているので満足している。 ・学ぶことを楽しんでいるように思う。	あんでは、成人期を見据えて個別や集団の活動を行っています。座って課題をすることも多く、メリハリのある支援を行っているため、「疲れた。」「行きたくない。」と言った声もあるかもしれませんが、お子様の状態や変化に合わせて、達成感を感じられるように療育内容を検討し、ご本人に力をつけてもらえるようと考えて支援を実施しています。
45	事業所の支援に満足しているか。	・事業所での取り組みをしっかりと伝えて、その日何をしたのかわかり安心できる。	お子様に対する療育だけでなく、保護者の方々との細かい情報のやりとりも重要と考えています。連絡帳で日々の様子を報告させていただきだけでなく、面談・電話や送迎時に細かく情報共有させていただき、お子様の支援の役立てたいと考えています。	